

鶴見区市場西中町まちづくり協議会

活動計画書

平成20年の防災まちづくり計画を、平成28年に新しい防災まちづくり計画として改訂し活動してきました。

今後もこの防災まちづくり計画をもとに、まちづくり協議会員が一体となり市場西中町の防災まちづくりを着実に推進するために、3つのビジョン(いえづくり・みちづくり・まちづくりのビジョン)に取り組み、1つ1つ着実に進めます。

当面の活動としては以下の通りです。

1、防災備蓄品の強化

- ・防災備蓄庫のさらなる活用
- ・防災備蓄品の検討
- ・食料品・飲料水・衛星用品等の検討
- ・乾電池等の期限確認

2、防災訓練等の実施（自助・共助の取り組みの推進）

- ・いつ起きるかわからない災害に備え、継続的に訓練を行います。
- ・具体的には市場西中町きらきら公園で鶴見第6分団と協働して、スタンドパイプ・水消火器を使った初期消火訓練、カマドベンチやマンホールトイレの使用訓練、黄色い元気プレートを活用した安否確認訓練等を行います。

3、他地区との交流会の実施・見学会の実施

- ・同じようにまちづくりに取り組んでいる協議会と交流会を実施し情報共有を図ります。
- ・防災意識の啓発や、防災まちづくり活動への参考とする目的とし、先進事例や防災センター等の見学・体験を実施します。
- また、災害被災地を訪れ災害の恐ろしさを実体験したいと思っております。

4、広報(まちづくりニュース・かわら版の発行)

- ・まちづくり協議会としての活動状況を広く知ってもらうためまちづくり協議会ニュースとかわら版をそれぞれ年3回発行します。
- ・防災に関するニュースや西中町を取り巻く環境を紹介していきます。

5、街の美化

- ・吸殻拾い・ゴミ拾いを通して町の美化を推進します。
- ・ごみ置き場の籠や掲示物の整備をしていき、住民に住んでよかったと思われるまちにしています。

6、事前協議

- ・新築工事の際の建築主等との事前協議を引き続き行っています。